

変動する、解。



# アジャイル・ガバナンス シンポジウム 4th

Agile Governance Symposium 4th / Tokyo & Kyoto

主催/京都大学 法政策共同研究センター / 信州大学 社会基盤研究所  
協賛/NPO法人軽井沢先端学術センター



同時通訳をお聞きになる場合は以下QRコードより視聴用zoomにお入りください。  
ご利用方法は事前にお送りしたご案内メールをご参照ください。

Tokyo



パスコード:537194

Kyoto



パスコード:652123

会場にはFree Wi-Fiはございませんので  
接続はご自身のネットワークに依存しますことを予めご了承ください。

# アジャイル・ガバナンス シンポジウム 4th

2025.4.4(金)ステーションコンファレンス東京(サピアタワー)5階  
4.5(土)京都大学時計台記念ホール

# Speaker Biographies

変動する、解。



# AGILE GOVERNANCE

SYMPOSIUM 4TH  
TOKYO / KYOTO



# AGILE GOVERNANCE

## SYMPOSIUM 4TH

### TOKYO / KYOTO

## Speaker Biographies

### PAGE OF CONTENTS

- 01-02 登壇者一覧
- 03 シンポジウムプログラム
- 04 プロジェクトオーガナイザーからのごあいさつ
- 05-14 開会挨拶・閉会挨拶・基調講演・登壇者プロフィール



## Day1/4.4 (金)

### Session 1

11:15-12:30

#### Evidence-Based Governance

Speaker

深水 大輔



長島・大野・常松法律事務所 パートナー  
信州大学 特任教授  
Biography page 05

Speaker

Glenn Leon



Chief, Fraud Section Criminal Division United States Department of Justice  
Biography page 06

Speaker

Daniel S. Kahn



Partner, Davis Polk & Wardwell LLP  
Biography page 07

Speaker

Lisa Osofsky



Partner & Managing Director, AlixPartners, LLP  
Biography page 07

Speaker

Simon Airey



Partner, McDermott Will & Emery  
Biography page 07

### Session 2

14:45-15:45

#### Risk Management Using Technology

Speaker

池田 雄一



PwCリスクアドバイザー合同会社 パートナー  
Biography page 08

Speaker

Vincent Walden



Kona AI CEO  
Biography page 08

Speaker

Eric Robinson, JD/PMP



KLDiscovery Ontrack LLC  
VP, Global Advisory Services & Strategic Solutions  
Biography page 09

Speaker

Cliff Lam



Director | Risk Advisory, AlixPartners, LLP  
Biography page 09

Speaker

Matt Galvin



Former Compliance & Data Analytics Counsel for the United States Department of Justice  
Biography page 09

### Session 3

16:00-17:00

#### 経済安全保障の最前線

Speaker

湯浅 諭



長島・大野・常松法律事務所 弁護士  
Biography page 10

Speaker

玉井 克哉



東京大学特任教授(先端研)  
信州大学特任教授(基盤研)  
Biography page 10

Speaker

中谷 昇



日本電気株式会社  
執行役 Corporate EVP 兼 CSO  
Biography page 10

Speaker

伊藤 隆



元 三菱電機株式会社  
Biography page 11

### Day1 開会挨拶

11:00-11:10

深水 大輔



長島・大野・常松法律事務所 パートナー  
信州大学 特任教授  
Biography page 05

### Day1 基調講演

13:45-14:30

名和 高司



京都先端科学大学教授  
一橋大学ビジネススクール客員教授  
Biography page 06

### Day2 閉会挨拶

17:50-17:55

稲谷 龍彦



京都大学 大学院法学研究科 教授  
京都大学法政策共同研究センター  
「人工知能と法」ユニットリーダー  
Biography page 05

## Day2/4.5 (土)

### Session 4

13:30-14:45

#### Agile Governance Update

Speaker

羽深 宏樹



京都大学法学研究科特任教授  
スマートガバナンス株式会社代表取締役CEO  
Biography page 11

Speaker

山下 徹哉



京都大学大学院法学研究科 教授  
Biography page 11

Speaker

高橋 久実子



株式会社三菱総合研究所  
Biography page 12

Speaker

渡部 友一郎



Airbnb Japan株式会社 取締役・日本法務本部長  
Biography page 12

Speaker

浅井 顕太郎



京都大学大学院法学研究科附属  
法政策共同研究センター 教授  
Biography page 12

### Session 5

15:00-16:15

#### Human-Non-human Interaction Updated

Speaker

上出 寛子



京都大学大学院法学研究科附属  
法政策共同研究センター特定准教授  
Biography page 12

Speaker

浅田 稔



大阪国際工科専門職大学  
大阪大学先導的学際研究機構  
共生知能システム研究センター特任教授  
Biography page 13

Speaker

柴田 高広



京都大学大学院法学研究科附属  
法政策共同研究センター特任教授  
株式会社三菱総合研究所主席研究員  
Biography page 13

Speaker

Phillip Morgan



Professor of Human Factors and Cognitive Science  
School of Psychology, Cardiff University, UK  
Biography page 13

Speaker

稲谷 龍彦



京都大学 大学院法学研究科 教授  
京都大学法政策共同研究センター  
「人工知能と法」ユニットリーダー  
Biography page 05

### Session 6

16:30-17:45

#### New Issues to Be Addressed

Speaker

稲谷 龍彦



京都大学 大学院法学研究科 教授  
京都大学法政策共同研究センター  
「人工知能と法」ユニットリーダー  
Biography page 05

Speaker

羽深 宏樹



京都大学法学研究科特任教授  
スマートガバナンス株式会社代表取締役CEO  
Biography page 11

Speaker

広瀬 貴之



京都大学大学院法学研究科附属  
法政策共同研究センター 特定講師  
有人宇宙システム株式会社(JAMSS)  
安全開発・ミッション保証部  
先端技術研究センター 副主任研究員  
Biography page 14

Speaker

Indra Spiecker



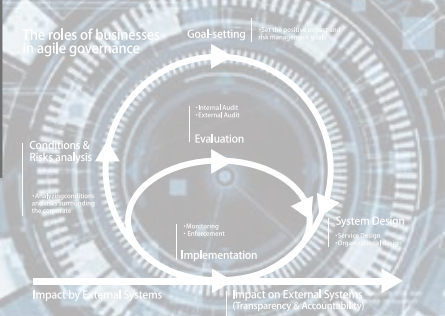
Professor. Dr. LL.M. University of Cologne, Germany.  
Biography page 14

Speaker

陳 冠瑋



京都大学 大学院法学研究科  
附属法政策共同研究センター  
「人工知能と法」ユニット 特定助教  
一橋大学 ソーシャル・データサイエンス研究科  
客員研究員  
Biography page 14



### シンポジウムプログラム

Day.1  
4/4  
(金) 11:00~17:00  
Tokyo

**開会挨拶** 11:00-11:10  
深水 大輔 (長島・大野・常松法律事務所/信州大学)

**Session 1: Evidence-Based Governance**  
11:15-12:30  
登壇者 深水 大輔 (長島・大野・常松法律事務所/信州大学)  
Glenn Leon  
(Chief of the Fraud Section of the Criminal Division, U.S. Department of Justice)  
Daniel S. Kahn (Davis Polk)  
Lisa Osofsky (AlixPartners)  
Simon Airey (McDermott Will & Emery)

**基調講演** 13:45-14:30  
名和 高司 (京都先端科学大学/一橋大学ビジネススクール)

**Session 2: Risk Management Using Technology**  
14:45-15:45  
登壇者 池田 雄一 (PwC Risk Advisory LLC)  
Vincent Walden (Kona AI)  
Eric Robinson (KLDDiscovery)  
Cliff Lam (AlixPartners)  
Matt Galvin (U.S. Department of Justice)

**Session 3: 経済安全保障の最前線**  
16:00-17:00  
登壇者 湯浅 諭 (長島・大野・常松法律事務所)  
玉井 克哉 (東京大学/信州大学)  
中谷 昇 (日本電気株式会社)  
伊藤 隆 (元 三菱電機株式会社)

**Session 4: Agile Governance Update**  
13:30-14:45  
登壇者 羽深 宏樹 (京都大学/スマートガバナンス株式会社)  
山下 徹哉 (京都大学)  
高橋 久美子 (三菱総合研究所)  
渡部 友一郎 (Airbnb Japan株式会社)  
浅井 顕太郎 (京都大学)

**Session 5: Human-Non-human Interaction Updated**  
15:00-16:15  
登壇者 上出 寛子 (京都大学)  
浅田 稔 (大阪国際工科専門職大学/大阪大学)  
柴田 高広 (京都大学/三菱総合研究所)  
Phillip Morgan (Cardiff University)  
稲谷 龍彦 (京都大学)

**Session 6: New Issues to Be Addressed**  
16:30-17:45  
登壇者 稲谷 龍彦 (京都大学)  
羽深 宏樹 (京都大学/スマートガバナンス株式会社)  
広瀬 貴之 (京都大学/JAMSS)  
Indra Spiecker (University of Cologne)  
陳 冠瑋 (京都大学)

**閉会挨拶** 17:50-17:55  
稲谷 龍彦 (京都大学)

PROGRAMS

Day.2  
4/5  
(土) 13:30~17:55  
Kyoto

### 第4回アジャイル・ガバナンスシンポジウムの開催にあたって

我が国においても、生成AIをはじめとするテクノロジーの急速な進歩を身近に感じる場面がますます拡大しています。また、自動運転のような新技術の活用場面において、ロボットやマシンはヒトの認知システムにどのように作用するのかといった研究も進められており、サイバー空間とフィジカル空間とが密接かつ高度に融合したシステム (Cyber Physical System: CPS) が我々の社会の基盤となりつつあります。

CPSが基盤となる社会において、デジタル技術や関連するシステムの信頼性を確保しつつ、その効果的な活用により経済発展を促進し、少子高齢化や、都市への人口集中、経済成長の鈍化、急速な気候変動、環境破壊等の課題に対処していくためには、CPSに関連するガバナンスの在り方そのものを大胆に見直すことが求められます。

また、VUCA (Volatility, Uncertainty, Complexity, Ambiguity) と呼ばれる、変化の激しく将来の見通しが不明確な社会においては、柔軟な発想のもと、検証可能性・透明性を確保しつつ、機動的にトライ＆ラーンを繰り返す学習プロセスを構築・運用し、どのようなガバナンスが「いま、ここ」で望ましいのかを絶えず考える姿勢を持つことが重要となります。

このシンポジウムは、以上のような問題意識のもと、国内外の実務家、研究者、企業、関連当局等がそれぞれガバナンスの担い手として、分野を越えて広くガバナンスに関する対話や議論を行う「場」をつくることを目的とするものです。

このシンポジウムが、みなさまが新しいガバナンスについて考える際の一助となれば幸いです。

ご参加いただきみなさま、ご登壇いただくスピーカーのみなさま、イベントを支えてくださっているスタッフのみなさまに、この場を借りて心より感謝申し上げます。

プロジェクトオーガナイザー 深水 大輔

長島・大野・常松法律事務所 パートナー 弁護士/信州大学 特任教授

The roles of businesses  
in agile governance

Goal-setting  
•Set the positive impact and risk management goals

•Internal Audit  
•External Audit

Evaluation

•Monitoring  
•Enforcement

Implementation

•Service Design  
•Organizational design

Impact on External Systems  
(Transparency & Accountability)

•Timely disclosure

Impact by External Systems

Conditions &  
Risks analysis

Analyzing conditions  
and risks surrounding  
the corporate



### 【開会挨拶 / 登壇】



## 深水 大輔

長島・大野・常松法律事務所 パートナー  
信州大学 特任教授

危機管理・当局対応・コンプライアンス・リスクマネジメントを主に取り扱い、大型企業事件等を多数手がける。また、信州大学特任教授として、The Cambridge International Symposium on Economic Crimeへの登壇や、White Collar Crime Workshopを主催するほか、精力的に国内外で企業犯罪に関する研究活動に取り組んでいる。加えて、その経験から、経産省「Society5.0における新たなガバナンスモデル検討会」の委員及びKonaAIのアドバイザーボードに選出された。

The Legal 500において「Asia Pacific Next Generation Lawyers」に選出されている（3年連続）ほか、ALBでは「40 under 40(2019)」でAsia Outstanding Legal Professionalsに選ばれ、ALB Japan Law Awards 2020において「Young Lawyer of the Year」を受賞、Benchmark Litigation Asia-Pacific Awards 2024においてJapan Lawyer of the Yearとして選出されている。

### 【閉会挨拶 / 登壇】



## 稲谷 龍彦

京都大学 大学院法学研究科 教授  
京都大学法政策共同研究センター「人工知能と法」ユニットリーダー

京都大学大学院法学研究科教授。専門は、刑事法(刑事学・刑事政策)。特に、企業犯罪及び先端科学技術に関する法ガバナンスについて中心的に研究している。哲学・認知科学・経済学などの隣接領域の知見を応用した学際的なアプローチに基づく研究手法を実践している。京都大学大学院法学研究科附属法政策共同研究センターでは、人工知能と法に関する研究チームのPIを務めている。理化学研究所AIP客員研究員を兼任。経産省、デジタル庁、IPA-DADCなどにおいて各種委員を務め、複数の企業との共同研究及び複数の海外大学との共同研究を実施している。主要業績として、(単著)『刑事手続におけるプライバシー保護-熟議による適正手続の実現を目指して』(弘文堂 2017年)、(共著)『アーキテクチャと法-法学のアーキテクチャな転回?』(弘文堂 2017年)、(共著)『AIで変わる法と社会-近未来を深く考えるために』(岩波書店 2020年)、(共著)『法解釈の方法論-その諸相と展望』(有斐閣 2021年)などがある。また、現在法学論叢誌上で、「企業犯罪対応の現代的課題-DPA/NPAの近代刑事司法へのインパクト」を連載している。東京大学文学部卒、京都大学法科大学院修了。パリ政治学院法科大学院、シカゴ大学政治学部で在外研究。

### 【基調講演】



## 名和 高司

京都先端科学大学教授  
一橋大学ビジネススクール客員教授

東京大学法学部、ハーバード・ビジネス・スクール卒業。三菱商事を経て、マッキンゼーで約20年間勤務。デンソー(～2018年)、ファーストリテイリング(～2022年)、味の素(～2023年)、SOMPOホールディングスなどの社外取締役、朝日新聞社の社外監査役(いずれも現在も)を歴任。消費者庁「消費者志向経営賞」座長。ボストン・コンサルティング・グループ(～2016年)、インターブランド、アクセンチュア(いずれも現在も)などのシニアアドバイザーを兼任。『バーパス経営』、『CSV経営戦略』、『シュンペーター』、『企業変革の教科書』、『経営変革大全』、『コンサルを超える問題解決と価値創造の全技法』、『10X思考』、『バーパス経営入門』、『超進化経営』、『エシックス経営』、『シン日本流経営』、『カイシャがなくなる日』(近著)など著書多数。

### 【登壇者】



## Glenn Leon

Chief, Fraud Section Criminal Division United States Department of Justice

GLENN LEON is the Chief of the Fraud Section of the Criminal Division at the U.S. Department of Justice. In this capacity, Glenn oversees over 150 federal prosecutors nationwide and supervises federal criminal investigations and prosecutions involving securities fraud, commodities fraud, healthcare fraud, government procurement fraud, federal bribery offenses, and violations of the Foreign Corrupt Practices Act. Glenn rejoined the Fraud Section last year after previously serving as an Acting Deputy Chief in the Fraud Section's Securities and Financial Fraud Unit.

Glenn also served as an Assistant U.S. Attorney for the District of Columbia for twelve years, where he prosecuted white collar, organized crime, and homicide cases. During his 16 years as a federal prosecutor, Glenn tried more than 25 jury trials.

Prior to rejoining the Department of Justice, Glenn served as Senior Vice President and Chief Ethics and Compliance Officer at Hewlett Packard Enterprise (HPE) for over seven years. In that role, he was responsible for the strategic direction and oversight of HPE's ethics and compliance program, including all internal and external investigations of legal and ethics violations. He provided legal counsel to ensure adherence to the law and industry standards on matters including anti-corruption issues, securities and accounting fraud, and export controls. His team was also responsible for leading the company's compliance with privacy, global trade, social and environmental sustainability and human rights matters.

Glenn started his career in private practice as a litigation associate at two national law firms. He earned his J.D. from New York University School of Law, and graduated from Brandeis University, magna cum laude, with a degree in Economics.



### Daniel Kahn

Partner, Davis Polk & Wardwell LLP  
Email: daniel.kahn@davispolk.com

Daniel Kahn is a partner at Davis Polk in the White Collar Defense & Investigations group. Dan represents companies and individuals in government enforcement matters, conducting internal investigations and in compliance matters. Dan previously served for 11 years at the Department of Justice, where he held a number of senior level positions, including acting Deputy Assistant Attorney General of the Criminal Division, acting Chief of the Fraud Section, and Chief of the FCPA Unit. The Wall Street Journal described Dan as DOJ's "most recognizable expert on the Foreign Corrupt Practices Act." At DOJ, Dan supervised matters involving the FCPA, money laundering, and fraud related to digital currency, fintechs, commodities, securities, healthcare and procurement. As Chief of the FCPA Unit, he oversaw all investigations and prosecutions involving the FCPA, and oversaw the exponential increase in multi-jurisdictional investigations, coordinating with authorities in Europe, Asia and Latin America. Dan also played a central role in developing enforcement policies at DOJ on the FCPA, corporate enforcement, compliance and monitors. Dan teaches Corporate Criminal Investigations at Harvard Law School and Global Anti-Corruption at Georgetown Law Center, and co-authored a treatise on corporate criminal investigations.



### Lisa Osofsky

Partner & Managing Director, AlixPartners, LLP

Lisa's risk advisory and corporate compliance experience, in the UK and US, has distinguished her as a leader in investigating and combating complex financial crimes. She has served as a prosecutor, in-house counsel, money laundering reporting officer, corporate compliance monitor, and ethics advisor for both public and private sector organizations, on both sides of the Atlantic. Prior to joining AlixPartners as a Partner & Managing Director, Lisa served as the Director of the Serious Fraud Office (SFO) in the UK, where she held the highest-ranking position in white-collar crime prosecution, focusing on anti-corruption, fraud, and anti-money laundering. As board chair and chief executive, Lisa was responsible for overseeing all SFO operations, reporting directly to Parliament. Under her leadership, the SFO investigated and prosecuted some of the most intricate white-collar criminal matters across the UK, achieving landmark convictions and securing substantial confiscation orders. Her career also includes legal, compliance, and investigative roles at Goldman Sachs International and Control Risks Group, as well as the FBI, where she was Deputy General Counsel and Ethics Officer. Lisa holds a Juris Doctor degree from Harvard Law School. She is a barrister and member of the Maryland State Bar Association.



### Simon Airey

Partner, McDermott Will & Emery  
Email: sairey@mwe.com

Simon Airey focuses his practice on global, cross-border and internal investigations, financial and regulatory crime, bribery and corruption, money laundering, tax and fraud inquiries, data breaches, dawn raids, asset tracing, international enforcement and corporate compliance issues. Simon serves as co-head of the Firm's Global Investigations & Compliance practice. He has conducted a wide range of investigations and corporate defence assignments in different sectors, including construction, defence, financial services, gambling, oil and gas, logistics, pharmaceuticals and telecommunications. Simon represents both companies and individuals in criminal and regulatory proceedings and in associated litigation. Simon advises a large number of multinational groups on their global compliance programs and assists clients with corporate risk assessments and pre- and post- M&A due diligence. He conducts tailored training for boards and senior management and has lectured around the world on a range of topics including the UK Bribery Act and the UK Criminal Finances Act. He advises a number of organisations on the corporate criminal offence of failing to prevent the facilitation of tax evasion and served on the UK Law Society committee which devised related guidance for the legal profession. He is also advising a number of clients in connection with the new Economic Crime & Corporate Transparency Act and is assisting with related policies, procedures and training. In addition to leading various major tax, fraud and bribery investigations, Simon has advised a foreign government in relation to various tax and transparency issues and represented over 50 financial institutions served with data production orders by HM Revenue & Customs in the UK. McDermott Will & Emery wrote the UK Chapters in the *Practitioner's Guide to Global Investigations* published by Global Investigations Review and recently acted for an international gambling company in the second largest Deferred Prosecution Agreement in English legal history.



### 池田 雄一

PwCリスクアドバイザリー合同会社 パートナー

PwCリスクアドバイザリー合同会社パートナー。専門はデジタル・フォレンジックスおよびeディスカバリーを中心に、企業内不正、海外訴訟、海外当局対応、サイバーインシデントの対応など幅広い分野をカバーしている。また、技術情報の盗難における対応や、個人情報の漏洩など複雑な事案なども数多く手掛けている。現在は70名を超えるチームを組織し、データサイエンティストやソフトウェアエンジニアなども抱え、データを使った不正検知などを含む平時におけるリスクマネジメントの分野において、データ分析やAIなどを駆使したソリューションの開発やそれらを使ったサービスなども提供している。2005年より米系リスクコンサルティングファームにてインテリジェンス調査およびデジタル・フォレンジック調査を中心に国内外のあらゆる調査業務に従事し、2014年から現職。



### Vincent Walden

Kona AI CEO

Vincent Walden is CEO of Kona AI, a global, AI-driven technology company focused on anti-fraud, anti-corruption and compliance risks. He specializes in forensic data analytics, continuous controls monitoring, information governance and legal discovery services. With over 25 years of professional anti-fraud and forensic technology experience, his primary area of focus is in providing leading technology innovations on both proactive compliance programs and reactive investigations. Prior to joining Kona AI, Mr. Walden was a Managing Director at Alvarez & Marsal's (A&M) Disputes & Investigations practice for approximately three years. Prior to A&M, Mr. Walden spent 14 years at Ernst & Young's Forensic & Integrity Services Practice in Dallas, New York and Atlanta, where he served as a Partner for nine years leading a global team of forensic data analytics professionals and supporting white-collar investigations. Before EY, he worked at KPMG and Arthur Andersen. During his career, he also served as President and CFO of a privately-funded Internet company, which was subsequently sold to a Fortune 500 Company in 2001. As an industry thought leader, Mr. Walden was recognized as "Certified Fraud Examiner of the Year" in 2022 and has been featured in many publications including Internal Auditor Magazine, Compliance Week, Forbes, The Wall Street Journal, Harvard Business Review and The Economist. Since 2018, he has been a regular columnist for FRAUD Magazine writing on anti-fraud innovation. As part of COSO's Anti-Fraud Task Force, Mr. Walden co-authored its "Fraud Risk Management Guide", which was released in September 2016 and was also part of the 2023 update. He also teaches Compliance Innovation as an Adjunct Professor at Fordham Law School in New York and hosts a bi-weekly pod cast show, "The Walden Pond", which focuses on compliance technology and trends.







### Eric Robinson, JD/PMP

**KLDiscovery Ontrack LLC**  
**VP, Global Advisory Services & Strategic Solutions**  
**E-mail: eric.robinson@kldiscovery.com**

Eric Robinson has more than 25 years of accumulated legal, eDiscovery, data governance and project management experience. As KLDiscovery's Vice President of Global Advisory Services & Strategic Solutions, Mr. Robinson leads KLD's Advisory Services team and works consultatively with clients to develop and implement cost effective, efficient, defensible discovery, data governance and data privacy compliance strategies. Mr. Robinson also co-leads KLD's Cyber Incident Response group. He leverages his experience in operational analysis and design and his knowledge of current legal trends and technology associated with information management to design defensible strategies and technology solutions to optimize client efficiencies in alignment with industry accepted practices.

Mr. Robinson's experience spans the Information Governance/ eDiscovery Reference Models. His experience ranges from conducting Information & Discovery Management assessments to data privacy compliance assessments and data remediations, to managing and/or serving as an ESI expert on large, complex multi-party litigations, cyber incident response and government investigations. Mr. Robinson is regularly engaged as an ESI Liaison and eDiscovery advisor, as well as, being retained as a 30(b)(6) witness to provide expert testimony, affidavits and declarations pertaining to all facets of the discovery process ranging from scoping, data preservation and collection strategies, to search term development and analysis and document review and production protocols.

Additionally, as a core member of KLDiscovery's Thought Leadership team, Mr. Robinson is regularly engaged as a speaker/CLE presenter on topics ranging across the entire Information Governance, AI/GenAI, Cyber Incident Response and eDiscovery spectrum.



### Cliff Lam

**Director | Risk Advisory, AlixPartners, LLP**

Cliff brings nearly 20 years of experience across Asia, Europe, and South America, where he has led complex investigations and advised corporate executives on risk and compliance matters. He has extensive hands-on experience applying data analytics for investigations, risk management, and corporate compliance programs. Notably, Cliff led the data analytics efforts for a multi-year FCPA investigation stemming from "Operation Carwash" in Brazil. He also helped a major US-listed e-commerce company evaluate the potential to digitalize its internal audit program by integrating data from over 100 internal systems. Before joining AlixPartners, Cliff served as the Regional Head of Fraud Risk Management at Standard Chartered Bank, where he designed and implemented the bank's digital fraud detection program. He is a member of the Hong Kong Institute of Certified Public Accountants and a board member of the Association of Certified Fraud Examiners Hong Kong Chapter.



### Matt Galvin

**Former Compliance & Data Analytics Counsel for the United States Department of Justice**

Matt Galvin was formerly the first-ever Counsel, Compliance & Data Analytics for the Fraud Section of the Criminal Division of the US Department of Justice where he oversaw the review of compliance programs in the context of enforcement resolutions, post-resolution remediation, and in the context of monitorships and disclosure period. He also architected the Fraud Section's data analytics programs taking innovative solutions to the problems of using technology and artificial intelligence to identify and prosecute white-collar crime. Prior to joining the Fraud Section, Matt was the Chief Ethics and Compliance Officer for AB InBev, where he was recognized as a leader in the application of emerging technology to manage organizational risk. Matt is the co-founder of Integrity Distributed, a non-profit dedicated to democratizing access to technology to improve corporate behavior and Global Advisors, a consultancy aimed at helping organizations implement cost-effective strategies to manage risk, subdue compliance challenges, and harness the power of emerging technologies.



### 湯浅 諭

長島・大野・常松法律事務所 弁護士

主に企業における経済安全保障対応と危機管理を取り扱っており、平時におけるリスクマネジメント・ガバナンス体制検証と有事における不正調査・危機対応の両面から、各企業のビジネス及びリスクを踏まえた幅広いアドバイスを提供している。

2014年東京大学法科大学院修了。2015年弁護士登録(第一東京弁護士会)、長島・大野・常松法律事務所入所。2019年公認不正検査士資格を取得。2022年 Duke University School of Law卒業(LL.M.)。2022~2023年 Steptoe & Johnson LLP(Washington, D.C.)勤務。2023~2024年経済産業省勤務(大臣官房経済安全保障室、貿易経済安全保障局経済安全保障政策課)。経済産業省では、重要経済安保保護活用法(セキュリティ・クリアランス法)の立法及び施行に係る政策を担当したほか、「経済安全保障に係る産業・技術基盤強化アクションプラン」を含む政策の企画及び周知、企業との間の戦略的官民対話・連携の実施、経済安全保障推進法の執行など、経済安全保障政策の立案と執行に広く携わった。



### 玉井 克哉

東京大学特任教授(先端研)  
 信州大学特任教授(基盤研)

東京大学先端科学技術研究センター教授・信州大学教授、弁護士(第一東京弁護士会所属)。一般社団法人経済安全保障マネジメント支援機構代表理事。

(経歴)1983年東京大学法学部卒、1988年学習院大学法学部助教授(行政法)、1990年東京大学法学部助教授、1995年同大先端科学技術研究センター助教授を経て1997年より教授、2016年より信州大学経法学部教授を兼任(クロスアポイントメント)。2022年より専攻を「ルール形成戦略」と改め、経済安全保障法制の研究を推進。



### 中谷 昇

日本電気株式会社 執行役 Corporate EVP 兼 CSO

1993年に警察庁入庁。警察庁情報技術犯罪対策課課長補佐等を経て、インターポール(本部:仏リヨン)で経済ハイテク犯罪対策課長、ITシステム局長兼CSOを歴任。

2012年INTERPOL Global Complex for Innovation初代総局長に就任、IGCIをサイバー犯罪対策の国際警察協力の拠点として創設をリード。

2019年3月警察庁退官後、ヤフー株式会社執行役員就任、同年6月一般社団法人セーフアーインターネット協会副会長、2020年6月株式会社ラック社外取締役、

同年10月Zホールディングス株式会社常務執行役員、同年10月からLINEヤフー株式会社 上級執行役員、Chief Trust& Safety Officer.

2024年 5月 日本電気株式会社 執行役Corporate EVP 兼 Chief Security Officer及びNECセキュリティ株式会社 代表取締役社長に就任し、サイバーセキュリティ戦略と事業を推進。

著書に『超入門デジタルセキュリティ』(講談社)。1991年慶應義塾大学法学部卒業。



## 伊藤 隆

元 三菱電機株式会社

1986年 三菱電機に入社。20年にわたり半導体事業に従事。事業計画の立案・実施、M&A、業界再編などに係る。また、通商摩擦、国際カルテル訴訟、知財訴訟等半導体事業で頻発する海外との紛争の解決を主導。日本経済団体連合会への派遣を境に半導体事業を離れ全社経営スタッフとしての業務に重心を移す。グループ全体の経営計画の立案・実施、ガバナンス改革などに係るほか、政策渉外として経団連副会長の業務サポートにもあたる。

2020年より民間企業では初めて設置された経済安全保障専門部門の責任者に就任(2023年執行役員)。

2025年役員任期終了に伴い三菱電機を退社。個人事務所代表として引き続きインテリジェンスと経済安全保障の重要性に関する経済界の意識向上に努めている。



## 羽深 宏樹

京都大学法学研究科特任教授  
スマートガバナンス株式会社代表取締役CEO

弁護士(日本・ニューヨーク州)。デジタル時代におけるイノベーションのガバナンスをテーマに、法規制、企業ガバナンス、市場メカニズム、民主主義システム等を統合したガバナンスメカニズムのデザインを研究している。

前職である経済産業省在籍中に、同省が公表した「GOVERNANCE INNOVATION」報告書(Ver.1(2020年)、同Ver.2(2021年))、および「アジャイル・ガバナンスの概要と現状」報告書(2022年)の執筆を担当した。2020年、世界経済フォーラムGlobal Future Council on Agile Governance及びApoliticalによって、「公共部門を変革する世界で最も影響力のある50人」に選出。東京大学法学部卒(BA)、東京大学法科大学院修了(JD)、スタンフォード大学ロースクール修了(LLM、フルブライト奨学生)。主著に、「AIガバナンス入門: リスクマネジメントから社会設計まで」(早川書房、2023年)。



## 山下 徹哉

京都大学大学院法学研究科 教授

京都大学大学院法学研究科教授。京都大学大学院法学研究科附属法政策共同研究センター「人工知能と法」ユニット協力教員。専攻は商法、特に会社法・保険法・金融規制。株主権の内容・行使方法、保険約款の解釈と任意規定の効力、金融商品の推奨・販売ルールおよびSociety5.0における民事責任・保険のあり方などについて幅広く研究を行い、『株主平等の原則の機能と判断構造の検討』(商事法務、2024)など著作・論文多数。経済産業省Society5.0における新たなガバナンスモデル検討会アジャイル・ガバナンス実装のための環境整備に関するWG委員、金融庁金融審議会金融分科会市場制度ワーキング・グループ資産運用に関するタスクフォース専門委員など。京都大学法学部卒、京都大学大学院法学研究科法曹養成専攻(法科大学院)修了。法務博士(専門職)(京都大学)。米国ペンシルベニア大学ロースクール客員研究員、ドイツ・マックスプランク外国私法・国際私法研究所客員研究員として在外研究を行う。



## 高橋 久実子

株式会社三菱総合研究所

慶應義塾大学大学院理工学研究科およびシステムデザイン・マネジメント研究科修了。2016年に三菱総合研究所に入社し、官公庁向けに新技術の活用に伴うガバナンス設計や政策立案の支援を行うほか、民間企業に対してDXに係るリスクマネジメントの戦略立案・高度化を支援。2020年にはIPAデジタルアーキテクチャ・デザインセンターの立ち上げに参画し、現在も同機関の外部専門員を務める。



## 渡部 友一郎

Airbnb Japan株式会社 取締役・日本法務本部長

鳥取県鳥取市出身。2008年東京大学大学院法学政治学研究科法曹養成専攻修了。2009年弁護士登録。英国系グローバルローファームであるフレッシュフィールドブルックハウステリンガー法律事務所、株式会社ディー・エヌ・エー 法務部を経て、現職。米国トムソン・ロイター・グループが主催する「ALB Japan Law Award」にて、2018年から2021年まで、4年連続計4部門受賞—In-House Lawyer of the Year 2018(最年少受賞)、In-House Lawyer of the Year 2020(2度受賞は日本人初)など。日本組織内弁護士協会理事、デジタル臨調(臨時行政調査会)事務局 非常勤嘱託、東京大学法科大学院及び東京大学公共政策大学院でのゲスト講師、NHKクロージアアップ現代出演など。



## 浅井 顕太郎

京都大学大学院法学研究科附属法政策共同研究センター 教授

シカゴ大学学士・修士・博士課程修了。B.A. with Honors, M.A., Ph.D.(経済学)。ゴールドマンサックス証券投資調査部、Japan-IMFスカラシップ・プログラム奨学生を経て、2016年よりオーストラリア国立大学経済・ビジネス学群Assistant Professor。2024年より京都大学大学院法学研究科附属法政策共同研究センター教授。研究領域は、企業・産業組織、金融仲介機能、行動科学、法と経済等。PNAS、JFQA等の主要国際誌にて論文が採択される。2021年に単著「Corporate Finance and Capital Structure: A Theoretical Introduction」が英Routledgeから出版された。



## 上出 寛子

京都大学大学院法学研究科附属法政策共同研究センター 特定准教授

2008年大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了、2009年大阪大学大学院基礎工学研究科 特任助教、2015年東北大学電気通信研究所 助教、2016年名古屋大学未来社会創造機構 特任准教授、2024年京都大学大学院法学研究科附属法政策共同研究センター 特定准教授  
日本ロボット学会会員、日本社会心理学会会員、日本心理学会会員





### 浅田 稔

大阪国際工科専門職大学  
大阪大学先導的学際研究機構 共生知能システム研究センター特任教授

大阪国際工科専門職大学副学長、大阪大学先導的学際研究機構共生知能システム研究センター特任教授、中部大学創発学術院客員教授、情報通信研究機構 (NICT) 脳情報通信融合研究センター (CiNet) PI. IEEE/RSJ 知能ロボットとシステムに関する国際会議 (IROS92) 最優秀論文賞、科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術に関する普及啓発功労者」など受賞多数。ロボットカップ創設者の一人であり、国際ロボットカップ委員会前プレジデント (2002~2008年)。科学技術振興機構 (ERATO 浅田共創知能システムプロジェクト2005-2011) 研究総括、科学研究費補助金 (研究課題番号: 24000012, 2012-2016) 「神経ダイナミクスから社会的相互作用に至る過程の理解と構築による構成的発達科学」研究代表者。科学技術振興機構 RISTEX 研究開発プロジェクト「自律性の検討に基づくなじみ社会における人工知能の法的電子人格」研究代表者など歴任。



### 柴田 高広

京都大学大学院法学研究科附属法政策共同研究センター特定教授  
株式会社三菱総合研究所主席研究員

東京大学工学部航空宇宙学科を修了後、シンクタンクに入社し、社会安全・産業安全を中心とした幅広い分野でのリスクマネジメント業務に産官学の観点から長年従事。ISO31000「リスクマネジメント」の日本代表エキスパート。「技術イノベーションとリスクガバナンスのあり方」をライフワークとして規制のあり方・制度設計に関する調査研究・コンサルティング業務を行っている。現在は特に社会・産業におけるAIリスクとの共生の観点から研究活動を行っている。



### Phillip Morgan

Professor of Human Factors and Cognitive Science  
School of Psychology, Cardiff University, UK  
morganphil@cardiff.ac.uk

Prof Phil Morgan holds a Personal Chair within the School of Psychology at Cardiff University. He is Director of the Cardiff University Human Factors Excellence (HuFEx) Group; Director of Research within the Centre for AI, Robotics, and Human-Machine Systems (IROHMS); Transportation Lead within the Digital Transformation Innovation Institute (DTII) and Director of the Airbus - Cardiff University Academic Centre of Excellence in Human-Centric Cyber Security (H2CS). He is Visiting Professor at Luleå University of Technology, Sweden, and Distinguished Visiting Professor at the University of Canberra, Australia.

Prof Morgan is an international expert in sociotechnical aspects of AI and automation, trust in disruptive technologies, Cyberpsychology, transportation, HCI, interruption and distraction effects, and adaptive cognition and has published extensively across these areas with >50 grants (~ £ 40million, e.g. Airbus, CREST, ERDF, ESRC, EPSRC, HSSRC, IUK, NCSC, SOS Alarm, Wellcome). Prof Morgan was a Human Factors lead on the IUK (~ £ 5m, 2015-18) *Venturer Autonomous Vehicles for UK Roads* project; Co-I and Human Factors lead on the IUK (~ £ 5.5m, 2016-19) *Flourish Connected Autonomous Vehicles* project; and UK-PI on a JST-ESRC (2020-2023, with collaborators at the universities of Kyoto, Osaka and Doshisha) project *Rule of Law in the Age of AI: Distributive Liability for Multi-Agent Societies*. He Co-Leads a Human-Centred Design theme within an EPSRC (~ £ 12m, 2024-2029) AI for Collective Intelligence (AI4CI) hub (<https://ai4ci.ac.uk/>) - focussing on the design smart AI agents for optimal outcomes (e.g. trust, acceptance, adoption, continued use) and to achieve positive behaviour change, at scale.

Prof Morgan is Director of HumaniFAI Ltd - a research and consultancy company focussed on human-centred, assured, ethical, responsible, and safe design and use of AI, robotic and autonomous systems.



### 広瀬 貴之

京都大学大学院法学研究科附属法政策共同研究センター 特定講師  
有人宇宙システム株式会社 (JAMSS) 安全開発・ミッション保証部  
先端技術研究センター 副主任研究員

学生時代から現在に至るまで、人間—機械系の分野にて人と自動化の協調と安全に関する研究および業務に一貫して従事。2020年に京都大学大学院工学研究科機械理工学専攻にて京都大学博士 (工学) を取得し、その後は有人宇宙システム株式会社 (JAMSS) にて、宇宙機をはじめとした各種自動化システムの安全解析や設計支援に係る業務、宇宙ステーション補給機の運用業務に携わっている。また、2025年4月より京都大学大学院法学研究科附属法政策共同研究センター特定講師も務め、「人と技術の協調と安全」に関する研究に産学の垣根を超え取り組んでいる。



### Indra Spiecker

Professor. Dr. LL.M. University of Cologne, Germany.

*Prof. Dr. iur. Indra Spiecker gen. Döhmman, LL.M. (Georgetown Univ.)* holds the chair in Public Law, Law of Digitization and Legal Theory at the University of Cologne, Germany. Prior, she held full professorships at University of Frankfurt (2013-2024) and Karlsruhe Institute of Technology/University of Freiburg (2007-2013). She is also director of the Institute of Information Security and Dependability (KASTEL) at the Karlsruhe Institute of Technology (KIT) as well as of ATHENE, National Research Center for Applied Cybersecurity at TU Darmstadt. Prof. Spiecker studied law at Bonn, Mainz and Washington D.C.; she received her Ph.D. from Bonn University and habilitated at Osnabrück University. She was a senior researcher at the Max-Planck-Institute on Common Goods at Bonn.

Prof. Spiecker researches and publishes in the entire field of Constitutional and Administrative Law with a special focus on Information law as well as Technology law. In her research, she integrates interdisciplinary aspects from (Behavioral) Law and Economics, the Technical Sciences and Legal Theory. Her expertise is valued nationally and internationally; she regularly gives expert opinions for parliaments, governments and private institutions on data protection and artificial intelligence as well as other fields digitalization and law, but also in environmental law, IT-security, health law and technology regulation issues. Among others, she has been called into the permanent focus group "Digitalization" of the Leopoldina National Academy of Sciences, for which she published "Generative AI - Beyond Euphoria and Simple Solutions". She also serves as director in Esys, the Academies of Sciences' steering committee for the German energy system transition. She was elected into the National Academy of Technological Sciences (acatech) in 2016 as the first lawyer. She has been lecturing as guest professor at numerous universities in the EU, US, South America and Asia.



### 陳 冠瑋

京都大学大学院法学研究科 附属法政策共同研究センター「人工知能と法」ユニット 特定助教  
一橋大学 ソーシャル・データサイエンス研究科 客員研究員

ドイツ・ミュンヘン大学にて法学博士号 (2024) を取得。国立台湾大学で法学修士を修了。2023年には東京大学にて日本学術振興会外国人特別研究員として研究に従事。専門は憲法、行政法、情報法。近年は、デジタル立憲主義の理論的枠組みから新興技術の規制を分析し、特に人工知能 (AI) の発展に注目している。東アジアの民主国家における規制動向を国際的視野で検討し、とりわけ欧州との比較・対話を通じた法的課題の解明に取り組んでいる。主要著作に *Digitalisierung und Demokratie* (Springer VS, 2024) などがある。

台湾において弁護士資格を取得し、台湾司法院 / 憲法法院にて院長機要秘書官を務めた経験を有する。また、台湾の人権問題に関する国際的な議論を促進する英語プラットフォーム *Taiwan Human Rights Hub* の創設者でもある。